

教室中が一体感に包まれる遊びの心地よさ

遊びが教師の予想を超えて盛り上がり、教室中を巻き込みながら、子どもも教師もみんなで楽しめる瞬間があります。

その様子は、まるでジャズのセッションのように即興的で、その場にいる子どもも教師も、アドリブを織り交ぜながら演奏を楽しんでいるという感じです。誰もがその場の思いつきで自分が楽しいと思うことをしているようでいて、自然とみんなの動きや感情に合わせて全体とともに動いているようだとも言えます。

この日の年少さんの教室でも、そんなわくわくする一体感がありました。



年中さんが育てている野菜の近くにバナナがあったよ！先生見て！わーい！教室に持って帰って食べようっと。

あれ？このバナナ、皮がむけない！？あれれ？僕がむいてあげるよ。うーむ、むけない！？

バナナ！バナナ！なんか楽しくなってきたぞ。バナナ鬼ごっこしよう！待て待て待て～。あ、『バナナくん体操』の曲が聞こえてきたよ。音楽に合わせて体操しようよ！最後は先生と一緒に決めポーズ。見て見て、僕のポーズ、決まってるでしょう？

私のバナナちゃん、もう食べられるようになったかな～？



みんなの時間にバナナちゃんを紹介したんだ。うーむ。これはバナナの臭いか？みんなが臭いをかぎ出したよ。

「端っこのところがキュウリの臭いがする！」って言うお友達もいたよ。「ここがちょっと緑色でしょ。バナナじゃないよ。」って言う子も。

「切ってみたら分かるんじゃない？」先生が包丁とまな板を持ってきて、みんなの前で切ってくれたんだ。

やっぱりバナナみたいな色だ！やった！……でも臭いが……キュウリっぽい。みんなで観察した結果……これは、年中さんが育てていたキュウリだっていうことに。あー、バナナ食べるの楽しみにしてたのにな♪



楽しいね！バナナくん体操
はい、決めポーズ！



先生、変だよ！キュウリのにおいがする！

好きな遊びの時間に一人の子が見つけたバナナのような巨大キュウリ。実はこれ、年中の教師が「誰かがこれなんだろう？と遊びに発展するといいなと思ってビールケースに差しておいたんです」とのこと。これには驚きでした。見つけた子に付き添っていた教師は、その子がバナナだと思っている嬉しい気持ちを大事に、余計なことを言わずにいました。

また、年少の教室で子どもたちがバナナ！バナナ！と盛り上がり出したタイミングで『バナナくん体操』の曲を流したのは、一緒にダンスをしていた教師とは別の教師でした。「子どもたちが盛り上がってきたので、音楽をかけると踊りたくなるかな。追いかけてこのままでは危ないかな？」と思ったと言います。危険回避の意図もあったのでした。

さらに、みんながバナナの正体を知りたくなったタイミングで「切ってみたら分かるんじゃない？」と包丁とまな板を持ってきた教師。

子どもたちの「バナナくん体操」や「バナナ研究所」のような遊びが盛り上がり、一体感に包まれたのは、年少の全ての教師が、子どもたちと同じ目線で子どもたちの「今」の思考を想像し、さらに目線の先を見て、その場の判断で連携した結果でした。